

平成 30 年度 東野中学校コミュニティ・スクール事業計画書

1 施設の設置目的を踏まえた管理運営計画

コミュニティ・スクールは、地域の方々の生涯学習や地域活動の身近な場として相互交流を深めることを目的に親しみのある使いやすい施設づくりにより一層努めていきます。また、地域や学校との連携強化にも努め、情報の交流と共有化を図り相互協力のもとに地域の要望等を管理運営に反映させるように努めます。

①学校や地域との情報の交流と共有化に努めます。

②防犯・防災計画や避難訓練等で地域や学校との連携を進めます。

2 地域特性、地域ニーズを踏まえた管理運営計画

東野中学校コミュニティ・スクールの隣接地域は、豊かな自然環境に恵まれているとともに、戸建て住宅の多い地域であり、瀬谷第四地区連合自治会及び瀬谷第四地区社会福祉協議会、相沢地区自治会、細谷戸連合などの永年の地域活動により地域コミュニティの形成が進んできました。

この地域特性を勘案し、地域の皆さんの交流の場としての活動拠点や生涯学習の場を提供していきます。利用者満足度の向上に心がけ、誰もが気軽に利用できる魅力ある施設運営を目指します。

3 施設の安全性、安定的な維持管理計画

館長及びスタッフを適切に配置し、館の円滑運営に努めます。

個人情報保護について研修を全職員に実施し、法及び条例の趣旨の周知と日々の事務における個人情報の保護の徹底を図っていきます。

緊急対応マニュアル等に基づいて、日頃から防犯・防災その他の緊急時対応には万全を期していきます。建物・設備については、利用に支障がないよう日頃から状況を把握し、公共施設としての維持・管理に努めていきます。

4 利用者ニーズの把握、サービスの向上計画、利用促進計画

運営委員会で利用者、地域のニーズを把握します。館長自ら利用者との対話を通じて、直接、施設・自主事業についての感想・意見を聴き、サービスの向上に努めます。

自主事業のポスター・チラシの回覧、ホームページ等の情報発信に対するご意見からニーズを把握し、利用促進計画に反映していきます。

ご意見・クレームについては、話を良く伺い、できる限り要望に応じていきますが、対応できない場合は理由と代替案を示すことにより説明責任を果たしていきます。ご意見・要望は、事業計画にもできるだけ反映するよう努めていきます。

5 自主事業計画

①東野地域の高齢化に対応し、利用者の大半は 60 歳以上であることから高齢者を中心に無理なく参加できる事業を企画します。

②子どもたちを対象に楽しく、想像力を発揮できるような事業を企画していきます。

③子どもを中心に家族で参加できる事業を企画します。

④自主活動グループ形成を支援するために、ニーズを捉えた事業を企画します。

⑤事後グループは、6 回の優先利用を認めるなど自主活動グループの育成を支援します。

⑥今年度のキーワード

・読書 ・健康 ・図工・美術 ・地域(特色) ・学校連携 ・おもしろい

※年間を通して読書、健康等の取り組みに力を入れていきます。

平成30年度 東野中学校コミュニティ・スクール自主事業計画書

No	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)
1	0歳からの読み聞かせ	親子	16	毎月 第一木曜日	12	11,000
2	椅子に座ってゆったり体操	どなたでも	15	通年	20	34,000
3	パソコン教室	どなたでも	30	5月	3	20,000
4	紙芝居	どなたでも	30	5月～	4	11,000
5	写真教室	どなたでも	10	7月	2	12,000
6	百人一首	成人	20	6月～7月	3	39,000
7	東野中学校吹奏楽部・七夕	どなたでも	80	6月～	1	10,000
8	小学生図工教室	どなたでも	20	7月	1	2,000
9	寄せ植え	どなたでも	20	9月	1	6,000
10	文学	どなたでも	20	9月～11月	5	40,000
11	ガラスアート	どなたでも	20	10月	2	18,000
12	東野中学校和太鼓サークル	どなたでも	90	10月	1	3,000
13	サバイバル・ランチ	小学生以上(親子)	20	10月	1	3,000
14	写真教室	どなたでも	10	11月	2	11,000
15	コミスクまつり	どなたでも	600	11月	2	33,000
16	折紙 来年の干支	どなたでも	10	11月	1	6,000
17	和布の人形	どなたでも	15	11月	2	12,000
18	あずまののクリスマス	どなたでも	90	12月	1	9,000
19	寄せ植え	どなたでも	20	12月	1	6,000
20	宮沢賢治の世界	どなたでも	50	3月	1	12,000
21	造形教室	どなたでも	20	2月	2	2,000
合 計					68	300,000

平成30年度 収支予算書

施設名 東野中学校コミュニティ・スクール

1 収入の部内訳

(単位:円)

項 目	内 容 等	金 額	摘 要
(1) 委託料		7,617,000	
収 入 合 計 (a)		7,617,000	

2 支出の部内訳

(単位:円)

項 目	内 容 等	金 額	摘 要
(1) 人件費		5,584,000	
給与	館長	3,385,000	
社会保険料	館長	543,000	
健康・介護保険料		193,000	
厚生年金保険料		305,000	
児童手当拠出金		5,000	
雇用保険料		21,000	
労災保険料		19,000	
賃金	スタッフ賃金	1,603,000	
職員賃金		1,014,000	
アルバイト賃金		589,000	
通勤手当	館長	0	
健康診断費	館長、スタッフ	47,000	
勤労者福祉共済掛金	館長	6,000	
(2) 事務費・事務経費		754,000	
旅費	館長、スタッフ	11,000	
消耗品費	利用者用物品、事務用品等	150,000	
会議賄費		6,000	
印刷製本費	チラシ等	0	
通信・運搬費	電話、インターネット等	130,000	
使用料及び賃借料	コピー機パーチャード等	50,000	
備品購入費	利用者用物品、事務用品等	75,000	
図書購入費	貸出し、閲覧図書	143,000	
施設賠償責任保険		13,000	
職員等研修費		0	
振込手数料		6,000	
リース料		0	
事務経費	労務、経理、契約等	170,000	
(3) 事業費		300,000	
自主事業費	自主事業経費	300,000	
(4) 管理費		526,000	
清掃費	定期清掃	70,000	
修繕費	小破修繕	149,000	
機械警備費		301,000	
設備保全費		6,000	
その他保全費		6,000	
(5) 租税公課	消費税、法人税等	443,000	
(6) 諸費		10,000	
支 出 合 計 (b)		7,617,000	
収 支 差 額 (a-b)		0	